

平成22年9月7日・11日・14日

各地の小学校で森林教室を開催

9月7日(火)、白糠町立茶路小学校3年生～6年生20名を対象に学校林を活用した森林教室を行いました。今年度3回目の森林教室で、白糠町林務課の皆さんとも協力して行いました。今回は6月に実施した学校林探検で疑問に出たことを、「生物グループ」、「二酸化炭素グループ」、「木材グループ」など5つのグループに分かれ整理して、子どもたちから質問がありました。例えば、「学校林にはどんな生物がいて、どこに住んでいますか?」、「学校林に植えられているカラマツは何に使われますか?」、「学校林が洪水を防ぐ仕組みを教えてください?」などです。子どもたちに分かるように説明することはなかなか難しいものでした。



白糠町立茶路小学校3～6年生

9月11日(土)には、釧路市立共栄小学校で、釧路市内の「ことばの教室」の子どもたちとその保護者約20名を対象に、「飾り炭づくり」、「竹とんぼ」などで楽しみました。特に竹とんぼでは、羽の角度をいろいろに変えながら、少しでも飛ぶように子どもたちが工夫していました。



釧路市立共栄小学校(飾り炭作り)



釧路市立共栄小学校(竹とんぼ遊び)

9月14日(火)には、厚岸町立高知小学校3年生～6年生4名を対象に森林教室を行いました。教室で「森林の働き」について話をした後、学校の隣にある学校林の樹木観察を行いました。子どもたちからは、「木は何年ぐらい生きられますか? 森には寿命がありますか?」、「木は酸素のほかになにか出していますか?」などの質問がありました。



厚岸町立高知小学校(森林の働き)



厚岸町立高知小学校(樹木の葉の観察)